

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	プレミアムドリーム		
○保護者評価実施期間	令和8年1月4日 ～ 令和8年1月31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20 (回答者数)	15
○従業者評価実施期間	令和7年12月20日 ～ 令和8年1月20日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月3日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	当、放課後等デイサービスを長期的にご利用頂いているご利用児童が多く、同じ学校に通っている児童が大半で、それぞれ同級生であったり学校で挨拶をかわすこともあるようです。お互いの特性の理解も進み子ども同士の繋がり、さらに職員と子ども達の信頼関係を築けている。	その日のお当番さんであるとか、子ども達の中にも役割を作り、自主性やソーシャルスキルを磨きながら、他児童との関わり方を知る事。学校行事であるとか、先の見通しを共有することで、相互理解を深められるようにする。	これまで児童がそれぞれ単独で行っていた活動を、こどもの成長に合わせ少しずつグループや複数で行う活動に切り替えていく事でお互いに支えあう心を育てる。
2	定期的に身体を動かす習慣をつけるため、一昨年より地域の体育館をお借りして、スポーツ活動に取り組んでいる。	こども達それぞれの成長段階が違うため、率先して球技に取り組む子、体操をしったり歩いたり、新しいご利用者さまは特に、その場所にまず慣れる事から始める子もいるので、みんな一緒に身体を動かす事の楽しさを知ってもらう。	現在は体育館を使える曜日が決まっているため、参加しているご利用者様がほぼ固定化してしまっている状況。他の曜日の利用も検討して、事業所の強みとしての定期的なスポーツ活動の平準化を図りたい。
3	職員の定着率が高く、長期的に児童に関わる人材が多い事それにより、ご利用者様が安心して児童を預けて頂けること。	児童に対して優しく接するためには職員のプライベートが充実している事も必要、との視点から上長による定期的な面談を行い、職務上の悩みが無いかなど個別に話を聞いています。	上長と職員だけでなく職員間でも、相談し合ったり悩みを共有したりと、お互いを置かれた環境を知り、それぞれが安心して働ける環境を拡充していく

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	普段事業所での様子がわからないとのアンケート結果が出ました。お送りした際に、保護者さまにご様子をお伝えする時により細かい視点でお伝えするようにしていますが、より一歩進んだ施策が必要だと感じました。	しかしながら子ども達が屋内に居る状況でのご見学は、他の子ども達が不穏になる場合もある事なども考え、配慮に欠ける対応をリスクが高いため、子ども達が不在の際にご見学頂く事が中心となってしまふ	日々の送迎の際はもちろん、毎月の新聞やホームページなどで、屋内の様子をよりわかりやすくお伝えするように工夫します。
2	毎月のご予約に際して、事業所の一日の利用定員を超えてのご利用はもちろん出来ないため、特に土日祝日についてのご利用希望が多く、多数のご利用者様に日程変更などの調整に応じて頂いている事。	比較的土日祝日に偏りがあるが、全体的に予約数が超過になりやすい傾向にある。特に学校の無い土日祝日のご利用ニーズに広く応じたいが、利用定員に関して違反は出来ない為断念している。	ご利用者様が多い日については、他の事業所を紹介するなどの検討を進めて行きます。
3	非常災害時のマニュアル等を準備していますが、一部わからないとのご意見を賜りましたので、事業所に備え付けていること、またその内容についてお知らせする必要があると認識しました。	送迎時などの時間が限られた中での説明になるかと考えますが、こういった取り組みを行っている事をお伝えする必要があります、時間がないのではなく、時間は作って対応しないといけません。	非常災害時の対策など、送迎時や個人面談の機会などに周知、徹底を図る。